

諫早市美術・歴史館
BIREKI だより
Museum News/vol.34



「令和5年度 諫早の美術家展」の様子

Contents

令和6年度 企画展	・・・ 2
季節のワークショップ	・・・ 4
常設展示室	・・・ 5
びれきレポート	・・・ 6
みんなの声	・・・ 7

Apr. 2024



山口逸風 「飾」

書

工芸



武富教子「蓮・想い」(染)

今、そして未来へ

諫早の美術家展 今年度も開催!!

2024年4月28日(日)～5月26日(日)

観覧無料

諫早で創作活動をされている美術家の作品を展示します。
令和6年度は「書」「デザイン」「彫刻・工芸」の3部門です。
「洋画」「日本画」「水墨画・南画」「写真」は、令和7年度に展示予定です。

デザイン



木下伸弘「R6-①②」



馬場正邦「光の春」

彫刻

諫早大水害展

6月29日(土)～8月18日(日) 1Fホール

昭和32(1957)年7月25日に発生した諫早大水害は、市内全域に大きな被害をもたらし、死者・行方不明者は630名(諫早地域539人、森山地域53人、高来地域37人、小長井地域1人)にのぼりました。令和6年の「諫早大水害展」では、「慰霊碑・追悼碑」をテーマとし、諫早大水害・長崎大水害・元禄12(1699)年大水害に関する石造物などの写真、諫早大水害の惨状写真を展示します。

関連イベント

- 7月14日(日)水害史講座「諫早の水害史」
13:30～15:00(申込不要) 2F研修室
- 7月21日(日)諫早大水害展ギャラリートーク
10:30～、13:30～ (各回約30分・申込不要) 1Fホール



大悲観世音立像(高城公園内)

諫早市美術・歴史館 コレクション展 — 新収蔵コレクション —

12月14日(土)～1月13日(月・祝) 1Fホール

当館に所蔵する美術品等を展示します。



のんのご踊り

- ◀長崎の版画家、小崎侃(1942-)の多色摺り木版画です。小崎侃は熊本出身ですが、昭和51(1976)年から長崎を拠点としました。田川憲(1906-67)とともに長崎を代表する版画家です。

▶諫早市出身、野口典男(1937-2009)の油絵です。諫早市天満町出身の柔道整復師で、東京にて開業をしていました。

諫早高校では芥川賞作家の野呂邦暢や洋画家の田中道太郎と同窓で、音楽部と柔道部に在籍していました。

仕事の傍ら絵を描き始めたのは新宿区の美術講座に通うようになった昭和46(1971)年頃からです。平成13(2001)年頃からは、県内各地を訪ね、天主堂を題材とした風景画を多く描いています。



野首教会

季節のワークショップはじまります！

知的好奇心を呼び覚ませ！
GWは美歴に集合！

春のワークショップ

5月3日(金)、4日(土)、5日(日)

13:30~15:30 随時受付(受付締切15:00)

会場: 1階ホール

参加費無料

5月3日(金) パックタワー・パックこま

5月4日(土) わりばしてつぼ

5月5日(日) トコトコアニマル(紙コップ工作)

【3日(金・祝)~5日(日)の3日間!】かぶとづくり(新聞紙)・勾玉・古代模様のアクセサリ(紙ねんこ)

さらに！ 5月5日(日)は特別企画！！

- **甲冑体験** キッズサイズのよろいかぶとで君も立派な諫早殿！？

《事前申込制》【定員】各1組 参加費無料

【時間】10:30~、11:30~、13:30~、14:30~、15:30~



▲甲冑体験申込フォーム

- **コラージュの技法でマイボックスを作ろう！**

【講師】木下 伸弘 氏 (長崎県美術協会名誉会長)

【時間】10:30~12:00 【会場】2階研修室 【定員】15組 参加費無料



▲コラージュ申込フォーム

↓↓夏のワークショップ、秋のワークショップも開催予定です！↓↓

サマークラフト教室
夏休みの工作

その1 8月3日(土)
「マーブリング技法でオシャレうちわを作ろう！」

その2 8月17日(土)
「こねこね粘土で〇〇を作ろう！」
(講師:近藤浩一先生)

夏

世界に一つだけのリースを作ろう♡
クリスマスやお正月をオリジナルリースで彩ろう!

秋

11月16日(土)

常設展示室

歴史コーナー資料紹介

『領知行目録』

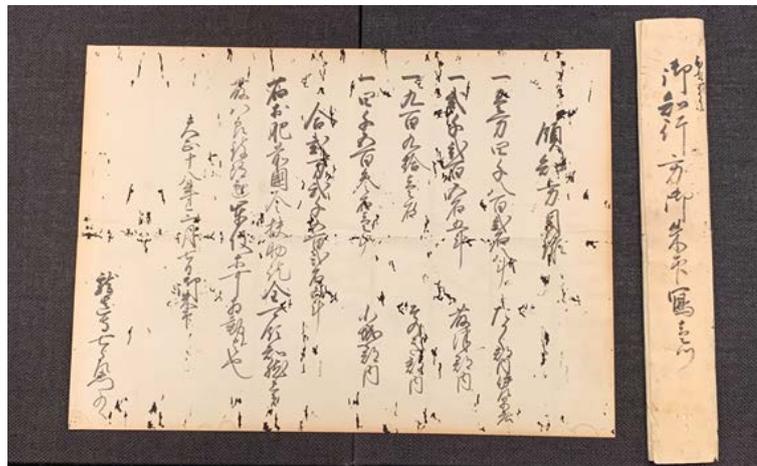
紙本墨書包紙43.4cm×29.7cm

本紙38.8cm×52.5cm

本史料は、諫早家に伝来してきたもので、天正18(1590)年、豊臣秀吉が龍造寺七郎左衛門(家晴)に宛てたものです。

天正15(1587)年6月、九州平定した豊臣秀吉は、九州内の領知の再配分を行います。龍造寺政家(龍造寺宗家)は肥前の地を安堵されますが、龍造寺家晴が治めていた柳川は、立花宗成に宛がわれたため、代地を秀吉に訴えると伊佐早地方を領していた西郷信尚の所領を治めるように命じられます。

その後、天正18(1590)年3月7日に宛がわれたのが本史料です。包紙の表書きに「本書有り/御知行方御朱印寫壱ツ」とあり、「本書有り」とあることから、原本は別にあると思われますが、不明です。内容は、高来郡伊佐早庄・藤津郡・彼杵郡・小城郡内の22,502石5斗が安堵され、龍造寺政家の子龍造寺高房(藤八郎)に従うようにと書かれています。佐賀藩成立後は、三分上知などを経て、諫早家は石高26,200石(物成10,480石)となります。諫早家の領地変遷を知る上で大変貴重な史料です。



《包紙》

【翻刻】

本書有り

御知行方御朱印寫壱ツ

《本紙》

【翻刻】

領知行目録

一 壹万四千八百式石八斗

一 式千式百五石五斗

一 九百九拾壹石

一 四千五百参石壹斗

合式万式千五百式石五斗

右於肥前國合扶助訖全可領知然上者

藤八郎致隨逐軍役亦可相働者也

天正十八年三月七日 御朱印

龍造寺七郎左衛門とのへ

【読み下し】

領知行目録

一 壹万四千八百式石八斗 たかく(高来)郡内伊佐早庄

一 式千式百五石五斗 藤津郡内

一 九百九拾壹石 そのき(彼杵)郡内

一 四千五百参石壹斗 小城郡内

合式万式千五百式石五斗

右、肥前国に於いて、扶助せしめ訖んぬ、全領知すべ

き、然上は、(龍造寺)藤八郎隨逐致し、軍役亦(等)

相働べき者也

天正十八年三月七日 御朱印

龍造寺七郎左衛門とのへ

びれきしポート

◆諫早市美術・歴史館 開館10周年記念 「諫早の酒造り展」 12/16(土)~1/14(日)

市内唯一の酒蔵(株)杵の川様にご協力いただき、当館主任専門員の調査結果をもとに、酒造りの道具や工程、歴史などの展示をしました。

また、諫早の酒造りに関する民俗講座や酒米を使った稲飾りワークショップ、酒造りにまつわる史跡を巡って日本酒のテイastingをするバスツアーと、酒造りにこだわったイベントも実施しました。

商工関係者との初コラボ企画だったため、「初めて美術・歴史館に来た」というお客様も多くいらっしゃいました♪



展示風景



民俗講座



酒米で稲飾りワークショップ



バスツアーの最後は日本酒のテイasting

◆諫早市美術・歴史館 開館10周年記念 「野口彌太郎展」 2/17(土)~3/24(日)

野口彌太郎は、大正から昭和時代に日本洋画壇で活躍したフォービズムの画家です。父の実家が本市にあり、幼少期の一時期を過ごすなど、本市にゆかりがあったことから、開館10周年にあわせて野口彌太郎展を開催しました。開場式と美術・歴史館開館10周年記念式典にあわせて、野口彌太郎の功績を偲ぶ第47回ミモザ忌も開催されました。

開場式後のギャラリートークは、野口の親戚でもあり、今回の展覧会に作品をお貸しいただいた久保田氏を交えた解説に、多くの来館者が熱心に聞きっていました。

また、これまで最多の92点の作品を展示したため、見ごたえがあるとの声を多くいただきました。

諫早市美術・歴史館は、3月1日の開館記念日にあわせて、来年以降も、野口彌太郎作品展を開催いたします。ミモザの黄色い花が咲く頃に、また、野口彌太郎作品を鑑賞においでください🌸



みんなの声

企画展へご来館の方々の感想です。

◆諫早の酒造り展 12/16(土)～1/14(火)



- ・酒造りを通して諫早市の歴史を学ぶことができましたように思います。
- ・酒造りの工程が模型で説明されていて分かりやすかったです。“潜龍”の看板が迫力あって見応えがありました。
- ・諫早市内のお酒の歴史を興味深く拝見させていただきました。
- ・大正～昭和期には諫早にも何か所か酒工場があって酒造りは身近だったのですね。保存用の大きなたるは見応えがありました。
- ・動画での酒造り風景などがあると、より分かりやすく学べると思いました。
- ・杵の川酒造の成り立ちがもっと分かればさらに良かったと思う(昔あった酒造とのつながりなど)。

◆野口彌太郎展 2/17(土)～3/24(火)



- ・今までに見たことのない作品がたくさんあって見応えがありました。
- ・年代順に展示してあったので制作の変化がわかってよかったです。
- ・初めて多量の作品を鑑賞する機会となりました。氏の画業の全体像を見た感じです。
- ・ほんとうに和みのある絵だなあ～と、ふつふつと感動致しました。
- ・素晴らしい作品を見せていただき感動しました。

※美術・歴史館では館主催の企画展ごとのアンケートを設置しています。また、1階受付の横に来場者アンケートを設置しています。今後の企画展の計画や運営の参考にさせていただきますので、アンケート記入のご協力をお願いします。



スケジュール (2024年4月～2024年6月)

展示

4/28(日)～5/26(日) 諫早の美術家展

【関連イベント】

- 4/28(日)開会式
- 4/28(日)ギャラリートーク
- 5/5(日)諫早の美術家展ワークショップ

6/29(土)～8/18(日) 諫早大水害展

【関連イベント】

- 7/14(日)水害史講座「諫早の水害史」
- 7/21(日)諫早大水害展ギャラリートーク

講座・イベント

5/3(金・祝)～5/5(日) 春のワークショップ

4/3(水)～5/27(月) プレゼンテーション ウォール開放

ご利用案内

- 開館時間 / 10:00 - 18:00
- 休館日 / 毎週火曜日 (祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日、特別整理期間
- 観覧料 (常設展示室)

区分	観覧料 (1人1回につき)	
	個人	団体
高校生・大学生・一般	200円	160円
小学生・中学生	100円	80円

- 市内在住または市内在学の小・中学生は学生証等の提示で無料です。
- 教育を目的として小・中・高校生などが団体で利用する場合は、引率の教員を含め、無料です。(要申請)
- 身体障がい者手帳等の提示者及び付添人1名無料です。

- 【その他】 ●ベビーカーや車椅子の貸出、授乳室もご利用いただけます。
- 敷地駐車場 / 30台

- 【アクセス】 ●JR / JR 諫早駅から徒歩約 20 分
- 島原鉄道 / 本諫早駅から徒歩約 5 分
- 自動車 / 長崎自動車道・諫早 IC から約 10 分
- バス / 長崎県営バス・諫早公園下車 徒歩約 5 分



BIREKIだより Vol.34

編集・発行 諫早市美術・歴史館
〒854-0014 長崎県諫早市東小路町2番33号
TEL: 0957-24-6611 FAX: 0957-24-6633
E-mail: bireki@city.isahaya.nagasaki.jp

諫早市美術・歴史館の企画展やイベントなどの情報を
ホームページやインスタグラムなどでお届けしています。
HP <http://www.city.isahaya.nagasaki.jp/site/bireki/>
Instagram @i_love_bireki

homepage



instagram

